

■ 会長 新年の挨拶



東京インテリアプランナー協会

会長 志村 美治

新年あけましておめでとうございます

昨年の皆様の活動ご努力に感謝いたすとともに、厳しい年の始まりに今年も熱い、熱い、熱いJIPATであることを皆様とともに目指していきたいと思えます。当協会は本年で15年を迎えますが、積み重ねてきたものにさらに新しい世代の活動が調和をもって重ねられ進んでいくものと期待しております。今年は、みなさんインテリアプランナーの役割についてもう一度考えてみてはいかがでしょうか。「心礎」にあたるものです。(心礎とは、五重塔の中心にある柱「心柱」を支える巨大な礎石のこと)

私は、文明と文化をつなぐ仕事だと思っています。近年人は、あらゆる環境において道具を発見しつくりだしてきた、文明の発達です。一方、人の本質や美学から生まれる芸術は、変化を必要としない、文化の伝承です。この両者は長い間バランスを保ってきましたが、ここ60年ほどで急速にその距離を広げこれからも急勾配で遠ざかっていくことが考えられます。デザインには、この距離をつなぐ役目があると認識しています。

しかしながら近年加速度的なテクノロジーの進歩により、浮き足立ったデザインは、文明の側に立ち人から離れ、効率や経済効果の中で存在してきました。今私たちIPは、文化の側にたつて考えることが重要なのではないのでしょうか。文化とは人そのものであり人が巻き起こす様々なことでもあり、空間とはまさにこのことではないのでしょうか。JIPATは、外へ向かい戦うときも、内を向いて蓄積を共有し合うときにも役にたつソフトウェアでありたいと考えています。みなさん2009年を楽しくすごしていきましょう。

■ 途中下車「E-Z-O」

私たちの仕事ではコンピューター無しでは考えられなくなった。

しかしパソコン本体のハードは売れ行きが芳しくない。先日もAppleは全ての国でイベントを取りやめると発表があった。我が国では数年前から無くなっているが。私はMac,Win両方使っているが、MacはOSが替わると気に入って使っているソフトが使えなくなる。新しく出たソフトで使い易そうな物に出会うと欲しくなる、が、それを求めるとなるとOSを入れ替えなくてはならず、OSを変更すると以前のお気に入りのソフトが使えなくなる。最近まではAdobeのQuickTimeとかAcrobatがあればインターネットから素材をダウンロードできた。しかし最近ではダウンロードするには知らない名前のソフトが出ている。「デジタルブック版カタログをご覧になるためには、FLASH PLAYER 9.01以上が必要です。」という案配だ。

今回お邪魔した(株)E-Z-O(イージーオー)も空間施工の会社であるが、Web制作が得意で、ホームページ制作を依頼したユーザーから、アクセス数が増え商品の回転数が大幅に増したとの喜びの声があり、そんな時が社員一同至福の時です。と、田中英雄社長。制作現場を覗いてみると、人とは変わったサイトということで、写真はFLASHではなく、Ajaxを採用。また、ユーザーからの問合せで訴求効果をあげるためAjaxの仕組みを使用しており、Worksに関してはFLASHによるスライドフローを設置しています。と、私のようなコンピュータおたくがお手上げである。

ホームページの制作を始めたのは、顧客に飲食店や美容院が多く、グラスなどに自社のロゴを入れノベルティーを高めたいとの希望があったので、ホームページを作ってあげれば顧客が増え、店舗増床の時のリピートをねらうのが目的で、サービスのつもりで始めたとのこと。ソフトはWordpressでWeb制作を行っております。そのホームページにブログを入れてあげています。ブログは毎日顧客自身が更新することが可能なので、また記事が投稿ごとに増えるのでそれを最大限にサーチすることができるのでこのソフトを使っています。MacとWinの相性はどうしていますかと聞くととても簡単にVMWARE FUSION 2(ヴァイエムウェア・フュージョン2)だと画像を選択するようにクリックだけでMacのデスクトップでWinの書類にアクセス出来ますよ。とパソコンを開いて見せてくださいました。

ホームページを立ち上げているがアクセス数が少ないとお思いの方は一度覗いてみてください。JIPATの会員ですと言えば割引をしてくださると、約束していただきました。

聞き取り 情報委員 井上



株式会社 E-Z-O
www.e-z-o.jp/
JIPAT 東京インテリアプランナー協会加盟

現実と仮想 それぞれの空間をプロデュースします。

〒176-0022

東京都練馬区向山4-4-29 プランニュー向山107

tel: 03-6808-1410 (イージーオー)

fax: 03-3998-8873

mob: 090-6953-9870

mail: h.tanaka@e-z-o.jp



代表取締役: 田中 英雄

田中さんと愛犬ミルモちゃん

似顔絵製作者 鈴木信成氏

■ IPEC 2008 アワード受賞者

デザインユニット

JPEC-2008 AWARD受賞者の表彰式が行われました。デザインユニットの部は、IPEC実行委員会が慎重に審査した結果以下の方々が表彰されました。

プランニングデザイン賞

株式会社オリバー



スペースデザイン賞

ナカタケ株式会社



奨励賞

静岡県家具工業組合



シンコーインテリア株式会社



NARUKOブランドプロジェクト
(宮城県商工会連合会)

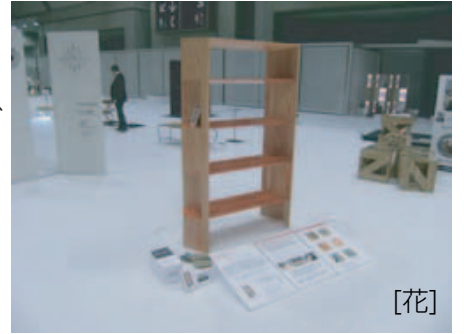


デザイナーズ・ショーケース

審査員の東海林弘康氏よりデザイナーショーケースの入賞者の発表がありました。

大賞

【Designer】 吉本垂矢/
(有) Y.IMAGINE
【Product】 北海道立林産試験場、
(有) 杏和建具



優秀賞

【Designer】 板橋一広/
イッコウリ・グラスアート
【Product】 (株) BE

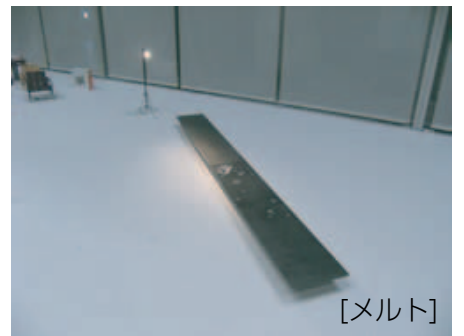


【Designer】 竹村尚久/
(有) ディーコンセプトデザインオフィス
【Product】 (有) 宇賀神溶接工業所、
STUDIO M、(有) ハルナ工芸

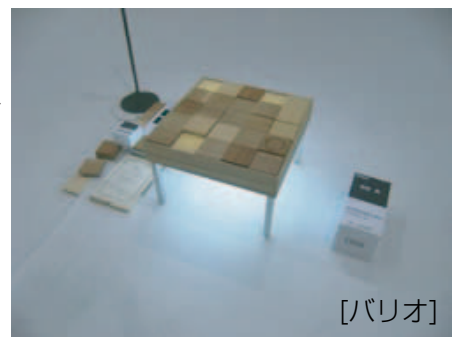


特別賞

【Designer】 藤原洋平・福富まり子・
横田篤彦・渡邊優子・田中亜矢子/
(株) フィールドフォー・デザインオフィス
【Product】 (株) 岡本、
(株) ワーズウィズ、コイズミ照明 (株)



【Designer】 前垣勲/
(有) ディーコンセプトデザインオフィス
【Product】 (有) 宇賀神溶接工業所、
STUDIO M、(株) アイ・リンク



■ 知ってて、知らない

戦後満州からの引揚最終船入港60年を迎え

昨年秋に、知り合いの町会議員が議会報告会をするので、そのステージ作りを頼まれた。

冒頭に、今年は満州引揚の最終船が真鶴に入港して丁度60年になる、満州からシベリアに抑留され帰国された方がこの街に住んでおられ良い機会なので、その時どんな状態であったか話しをされる穴戸文雄さん（2008年8月カラカンダ慰霊墓参参加者）が紹介された。

終戦の1週間前の1945.8.9にソ連軍の対日参戦、我々は国遼寧省の省都（旧称奉天（ほうてん））現在は瀋陽にいました。全く鉄砲がなく（南方の戦線の兵器不足を補うため）生きて捕虜になるならばと、手榴弾を1個の配給があった。上等兵からなんの指示も無いまま8月15日に天皇陛下の玉音放送があった。そのあとすぐにソ連軍が入ってきて「武装解除」を指示された。上等兵は狂気を発していた。我々は瀋陽からハルピン経由で、シベリア鉄道で西に西に送られた。満州に居た一般日本人も捕虜になり残留孤児がひっきりなしに助けを乞う。赤ん坊の声帯を切って逃げ回る悲劇もあった。部隊長は助けてあげられないので手榴弾を渡していた。その移動途中で日本軍3万2.722人が死亡している。シベリア鉄道の貨物列車のすき間からもれる夕日は真っ赤な血の色をしていた。日本軍将兵は64万人であった。ブラゴベシチェスク駅からまた貨車を乗り換え西に向かって走りはじめバイカル湖あたりで皆な頭がおかしくなってきた。列車の中でソ連兵が風呂敷を広げ時計、万年筆、金目なものをとりあげられた。それらをソ連兵が自国の人間に売るのである。トイレは列車が停ると列車の下に潜らされ線路で100人くらいで一緒にさせられた。ようやくカラカンダ（炭坑町 現カザフスタン）についた。其所が我々の収容所であった。先客がいて、イタリア・ドイツの捕虜（同盟国）達から歓迎会を催してくれ、バイオリンで演奏してくれた。それは「夜のタンゴ」だった。我々はうさぎおひしの「ふるさと」を皆で歌った。身体検査があり全員丸坊主にさせられた。そして尻に肉が付いている順に1級、2級、と差別され、炭坑に回された。4級はオッカといい病院に回されたが、その後どうなったか知る由もない。自分は2級だったので炭坑に回された。が、落盤事故がありトロッコに挟まれた。入院したが寝ているだけ、薬がない。寝て直すだけ、直らない人もいた。過酷で零下40度でも歩かされた。鼻や耳は赤くなるのではなく白くなった。ほっておくと取れてしまう寒さだった。森林伐採や鉄道工事に回された仲間は半数が亡くなった。食べ物は黒いパンと具のないスープだけであった。この話を聞いていて以前読んだ収容所群島の一説を思い出した。



「コルイマ河の岸で発掘作業中、偶然地下の氷層が発見された。それは凍結した大昔の流れであった。その中からやはり凍りついた数万年前の動物が発見された。その動物が魚か山椒魚だったので、それがとても新鮮なまま氷づけになっていたため、その場に居合わせた人々は氷をたたき割り早速その場でたき火にかざし喜んでたべてしまった。」と。現地の人間もそのような状態であるから捕虜となると言語に尽くせない事だと想像できる。

夜は南京虫が電気を消すと、バタバタ出てきて痒くて疲れた体から血を吸って行く。トイレは穴を掘りその中にするのでカチカチに固まり山のようなになった。帰国が始まってからも戦友に手紙など書いたものを託すと、全て没収され、その人が帰国の延期になるので誰も受取らなかった。痩せて死んでいく友は「かさんに逢いたい、かあさん、、、」年配者は子供の名や奥さんの名を呼んでいた。退院した時は雑務に回され、死んだ仲間を埋める仕事をさせられた。着ているものを全て剥がし、それを洗濯してソ連兵に渡すのである。それが我々の補給に回された。その後私はダム工事に回されたり農場に回された、農場に回された時は、食べ物はネギだった。

帰国の審査があり、やっと帰国の許可が出た時は残っている仲間の顔が見られなかった。ナホトカの海岸でテントの中で船が出るのを待たされた。興安丸から見た舞鶴は涙で港が見えなかった。ご存知のとおり舞鶴ではDDTの風呂に入れられた。捕虜になって2年目の夏だった。帰国後シベリア帰りは就職出来なかった。アカであると言われた。私は定年になるまで引き揚げ者とは言わなかった。今回墓参でそのカラカンダに行ってきましたがイタリア・ドイツ・ルーマニア・ハンガリーの墓は綺麗に整理されていたが、日本だけはまだ整理されておらず、だがしかし、もはや場所も特定出来なく月日が過ぎてしまった。生延びて戦争の愚かさ、平和の尊さを命有る限り語り続けたい。と。

■ 理事会トピックス（第102回 09年01月13日）

【理事会】

平成20年度（第3四半期）の収支報告がなされ承認されました。

第15回通常総会のスケジュールが説明されました。開催は5月29日（金）会則「会員の入会」についての改正案および教育普及委員会の新設について説明されました。

【総務委員会】

他協会の事務局体制の状況を広報室を通じて調査することとなりました。

【事業委員会】

IP受験セミナーの学科テキストに利用もできる「IPハンドブック」の制作を検討しているとの報告がなされました。

【情報委員会】

ホームページに掲載のニュース記事がRSSに対応し運用が開始されました。

【会員交流委員会】

IPEC会期中に開催されたJIPA交流会に170名の参加がありました。IP-TALKの会の検討内容について説明されました。

【国際委員会】

国内外51カ所の大使館・団体へグリーティングカードを発送しました。

【会員増強特別委員会】

IP試験合格者を対象とした交流会を開催する旨報告されました。

【法人会員の会】

セミナー「IPって何？」の第二弾を2月6日に開催する旨報告されました。JIPAT「ビジネスネットワーク」の内容が説明されました。

【IPEC実行委員会】

IPEC2009を開催することの報告がなされました。

■ 編集後記

年賀はがきを見ていて、気がついたことがあった。

様と、様があり、どう違うのか調べて見た。

様は目上に出すときに使い、様は部下に出すときだそうで、俗字で羊の下に次の文字を使うと同輩や友達に手紙を出すときに使うそうだ。（この字は辞書にはあるのだが、JISコード表に無い）

子供のころ父から貰った手紙に‘殿’と書かれていて、卑下されたような、くすぐったい感覚にとらわれた事があった。昔は‘殿’はしんがりを勤める侍をこのように呼んだそうだ。今度は私が父親になり下宿している息子に手紙を書く段階になり、様を使うのか殿を使うのか迷ってしまい、様を使うことにした。今回、この様と、様の使い分けがあることを知り、抵抗なく息子に様を付けることが出来るようになった。

小生（情報委員井上）は、商業敬語を使う様に訓練され、長くその生活になれて少しも抵抗無く、敬語が使えるのだが、敬語は、尊敬語、謙譲語、丁寧語からなっていて（平成19年に新たに謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、そして美化語が加わった）謙譲語Ⅰ、は相手に対して“伺いたいのですが”とへりくだり言い回しであり、謙譲語Ⅱは、聞き手に丁寧な物言いをする。そして、美化語はものごとに“お”をつけて呼ぶ言い方で“おてもと”や“お菓子”などがこの美化語で追加になりました。

この敬語も基本語と呼ばれている標準語でのみで、当てはまるらしく、地方ではまた違った言い回しがあるようなので、困ったものである。この敬語も、手紙を書くとなるとかなり神経を使うのである。

敬語の話し言葉や文中には軽いルールがあり、尊敬語と謙譲語が混ざるのは良くないそうで、次の文面はその例である。間違った家具を届けた時の謝りの手紙とする。

「どうぞ、お気にしないで、お取り換えするまで、お使いになって下さいませ」この文で、「お気に」の「お」は尊敬語だが、しないは普通語で、「お取り換え」は自分の方なので謙譲語である。そこで「お気になさらないで、それまでお使い下さい」とすると、すっきりする。

また、尊敬語が重なるのも避けるようにするとよい。『大変恐縮でございますが、ご返事をいただけませんか。』この文では、ございます、ご返事、頂く、とかさなってしまうので『大変恐縮ですが、ご返事をくださいませ』とするか、（大変恐縮ですが、返事を頂けませんでしょうか）にするとよい。一般に尊敬語は最後にまとめるほうが、すっきりするようです。

編集長 井上 常雄